

# 大桑 第206号 1月号 まさたか



市議員5期目  
よろしくお願ひします！

栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っていきます！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

## 環状3号線の4車線化について

これまでも何度か大桑新聞でお伝えしてきた環状3号線の4車線化ですが、街路樹の伐採など道路の4車線化に向けた工事が少しずつ進んでいます。そのような中、昨年12月より「小菅ヶ谷橋から小・中学校入口交差点付近」までの区間で新たな工事が始まっておりますので、ここでお知らせします。

今回の工事期間は令和元年12月～令和2年3月末までの予定となっております、工事の時間は原則9時から17時までとなっております。また工事内容ですが、歩道の改良や車道の低騒音対策、道路の横断を防止するための柵の設置、街路樹の植え替えなどとなっております。

今回の工事は令和2年3月末までの工事となっておりますが、小菅ヶ谷橋から小山台や日野南を通り、原乃橋までの4車線化の工事は令和4年度までを予定しております。一度にすべての工事をすることはできないので、一部ずつの工事となり、ご不便をかけることもあると思いますが、ご理解頂けるようお願いいたします。

# 大桑新聞

プロフィール

第206号(1月号)

大桑正貴(おおくわまさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間2-20-7-102

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-884-4917

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型  
横浜市立小山台小学校入学  
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)  
神奈川県立大岡高校卒業/神奈川大学法学部法律学科卒業  
平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職  
平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選  
平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選  
平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院修了  
平成23年(2011年)4月 横浜市議員 3期目当選  
平成27年(2015年)4月 横浜市議員 4期目当選  
平成31年(2019年)4月 横浜市議員 5期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

## 11月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

令和元年度11月現在の政務活動費累計残高は**-352,642円**です。

今月の支出の内訳

調査研究費	89,401円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	3,189円
広報費	392,847円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	106,029円
会議費	0円	事務費	28,141円

11月の支出合計は

**619,607円**です。

### 近況報告

令和2年第1回市会定例会ですが、令和2年1月30日(木)から令和2年3月24日(火)まで開催する予定となりましたので、ここでお知らせします。今後、定例会の会期などに変更がありましたら、改めてお知らせします。

次に、私の事務所についてですが、桂町から笠間に移動し、少しずつですが事務所に人がいる体制を取れるようにしております。しかし、土日なども含め、いつも事務所に人がいる体制をとることは難しいので、連絡をして頂いた時に不在の場合は、留守番電話へのメッセージ、またはFAXをお願いします。

最後に、大桑新聞では栄区のことを中心に、横浜市で起きていることをお伝えしています。これは、私は「**知って頂くことが何よりも大切**」だと感じているからです。これからもこの考えをもとに、大桑新聞を配っていきます。引き続き、大桑新聞を続けていきますので、よろしくお願いします。

### IRについて

以前、大桑新聞で横浜市がIRを誘致すると決め、私もそれを支持していると書かせて頂きましたが、改めて、現状などについて書かせて頂きます。

はじめに現在の状況ですが、横浜市は現在、IRを誘致するために民間事業者からIRについての計画(案)を募集しているところです。今後、民間事業者の計画(案)を横浜市が確認をしながら事業者と横浜市で計画(案)を策定します。その上で、この計画(案)を国が「認めるか?! 認めないか?!」という流れになっていきます。横浜市がIRを誘致できるかは、これからになります。

次に、横浜市がIRを必要だとしている理由ですが、今後、横浜市も人口減少、少子高齢化が進み、税収が減少するにも関わらず、福祉費などが増大していくことが予想でき、この状況を少しでも緩和するための1つの方法としてIRが有効だと考えるからです。IRですべてを解決できるとは考えていません。

最後に、IRの中に入っているカジノについてご心配の声を頂きますので、少し書かせて頂きます。まず、IRの中のカジノ施設ですが、全体を100%とした時、カジノ施設は3%ですので、まわりからカジノ施設が見えるということは考えにくいと思います。また、日本には現在、競馬や競輪、宝くじといった国が認めている賭博など(ギャンブル)があり、パチンコも遊戯といわれていますが換金ができます。そして、現在、日本においては競馬や宝くじなどはCMが放映され、競馬は生中継されるなど、多くの方が普通に楽しんでいます。私は、IRも横浜市において、競馬や宝くじと同じように節度を持って楽しむ方が多くなると感じています。一方で、依存症の対策ですが、IRを進める条件としてギャンブル依存症など、依存症への対策を国としてしっかりとやることになっていきますので、私は、今後、ギャンブル依存症は減少していくと感じています。私は「パチンコ屋の横に無人のお金を借りれる機械がある」などといった光景こそなくすべきだと考えています。



大桑新聞ではみなさまとともに、  
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)